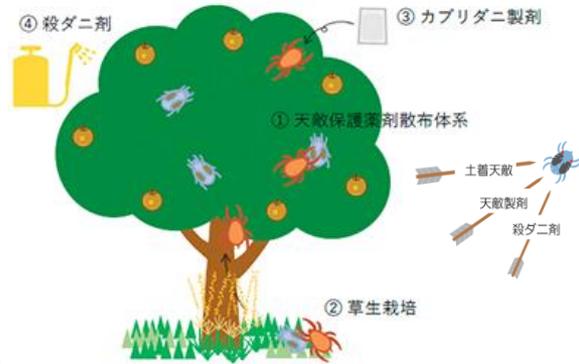


○果樹のハダニ防除において、経済性に優れた土着天敵と使い勝手の良い天敵製剤を主体とした防除体系(通称、<w天>防除体系)の導入によって、殺ダニ剤散布回数削減、薬剤散布作業の省力化が期待できます。

## <w天>防除体系の基本的枠組み

- (1) 天敵に配慮した病虫害防除
- (2) 天敵にやさしい草生管理
- (3) 補完的な天敵製剤の利用
- (4) 協働的な殺ダニ剤の利用



## ニホンナシの<w天>防除体系事例

千葉モデル 露地ナシ(品種:幸水)

	3月		4月		5月		6月		7月		8月		9月		10月	
	上	中下	上	中下	上	中下	上	中下	上	中下	上	中下	上	中下	上	中下
生育ステージ	萌芽		りん片脱落		開花		結実		果実肥大期		結実		収穫		落葉期	
下草管理	全面草生または株元草生(通路のみ機械除草)															
害虫防除	ハダニ類 ▼マシン油乳剤 ▼マイコカブリダニ製剤(2~5ヶ/樹) ▼アセキノシル水和剤 ▼スピロメシフェン水和剤 ▼ビフェンゼート水和剤(リセット防除時のみ)															
カイガラシ類	▼マシン油乳剤 ▼アプロジン水和剤															
ニセナシサビダニ	▼マシン油乳剤															
チャノキロガミ	▼マシン油乳剤															
アブラムシ類	▼マシン油乳剤															
シンクイムシ類	▼マシン油乳剤															
ハマキムシ類	▼マシン油乳剤															
その他	▼マシン油乳剤															
病害防除	▼マシン油乳剤															
黒星病④	▼マシン油乳剤															
その他	▼マシン油乳剤															

- ▼必須 ◻臨機
- ① ニセナシサビダニ・アブラムシ類に対して高い効果が長期間持続するため省力化が期待できる。
  - ② 防除支援情報システム「チャノキイロなび」で予測された発生時期に合わせて散布する。多発時は追加防除を行う。
  - ③ ネオニコチノイド剤はカブリダニ類以外の土着天敵類に影響を与えるので多用しない。

## 天敵保護資材「バンカーシート」



対象害虫：ハダニ類



対象害虫：ミカンハダニ  
アザミウマ類



(カブリダニバック製剤)

○雨や農薬からの隠れ場所・産卵場所となり、長期間多数のカブリダニを放出可能。

○石原バイオサイエンスHP  
<https://ibj.iskweb.co.jp/>



殺ダニ剤散布回数削減(年1回以下)  
薬剤散布の省力化  
ハダニ類の殺ダニ剤抵抗性の発達抑制

### 詳細情報

- マニュアル [https://www.naro.go.jp/publicity\\_report/publication/pamphlet/tech-pamph/130513.html](https://www.naro.go.jp/publicity_report/publication/pamphlet/tech-pamph/130513.html)
- 標準作業手順書(リンゴ編/ナシ編/基礎・資料編) [https://www.naro.go.jp/publicity\\_report/press/laboratory/nipp/143106.html](https://www.naro.go.jp/publicity_report/press/laboratory/nipp/143106.html)
- 標準作業手順書(施設編ブドウ/ミカン) [https://www.naro.go.jp/publicity\\_report/publication/laboratory/naro/sop/154557.html](https://www.naro.go.jp/publicity_report/publication/laboratory/naro/sop/154557.html)